# 日本の人口はどこへ向かう？

## 動機　地域で広がる少子高齢化と、世界で突出する高齢化率

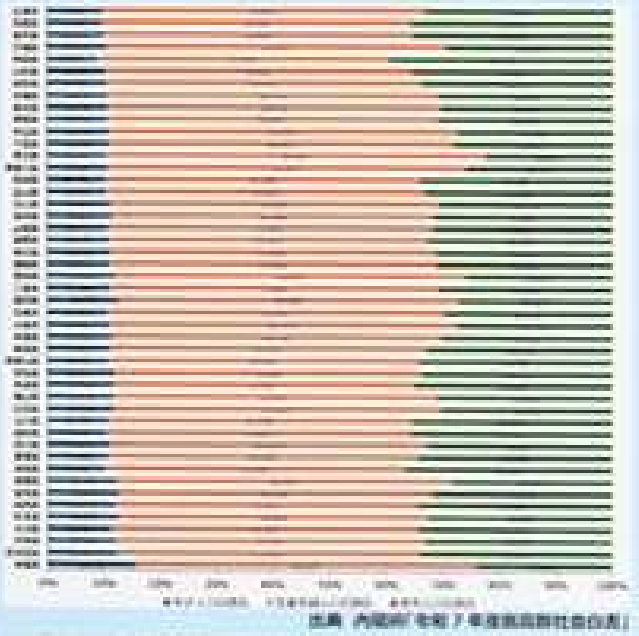
日本では少子高齢化が進んでいるが、地域によって人口構成には大きな違いがあることに興味を持った。また、日本の高齢化率は世界と比べてどの程度なのか疑問に感じた。そこで、地域ごとの人口構成と世界各国の高齢化率を比較し、日本の人口問題の現状と将来について考えたいと思った。

## 地図で見る日本の人口構成




出典　総務省統計局「日本の統計 2026」 & 日本の白地図「CraftMAP」（http://www.craftmap.box-i.net/）

## 都道府県別各年齢層の割合



出典　内閣府「令和 7 年度版高齢社会白書」

- 年少人口（0～14 歳）
  沖縄県の割合が高いなど、子どもの割合が特に多い。一方、秋田県などでは割合が低く、少子化が進んでいることがわかる。
- 生産年齢人口（15～64 歳）
  東京都や神奈川県などの都市部で割合が高い。これは、進学や就職によって若者や働き世代が都市部に集まっているためと考えられる。
- 老年人口（65 歳以上）
  秋田県などの東北地方や四国地方で割合が高い。一方、東京都や神奈川県などでは比較的低い。地域によって高齢化の進み方に大きな差があることがわかる。

**総合考察**

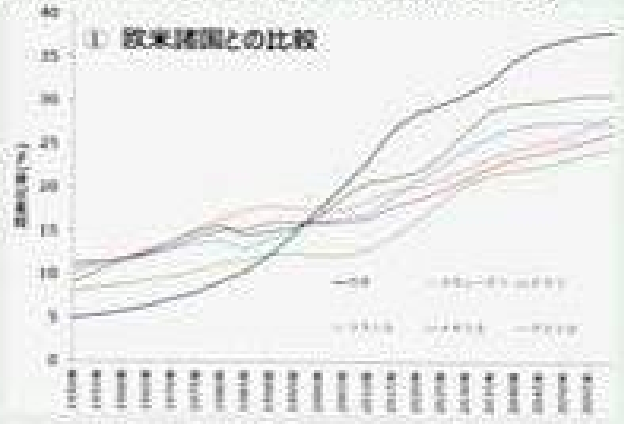
日本では、地方で少子高齢化が進む一方、東京などの都市部では生産年齢人口が集中していることがわかる。

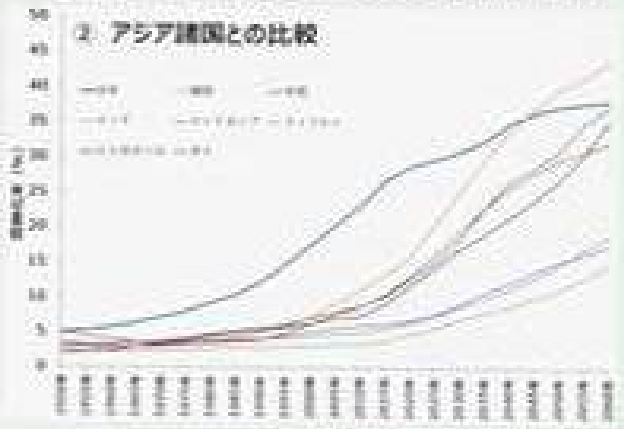
年齢別などでは高齢者の割合が高い、沖縄県では年少人口割合が高いなど、地域によって人口構成に大きな差がある。

日本は欧米諸国と比べても高齢化率が高い。今後も高い水準が続くと予測されている。韓国などのアジア諸国でも今後急速な高齢化が進むと予測される。

**→このことから、少子高齢化や人口構成の変化は日本だけでなく、今後世界的に取り組むべき課題になると考えられる。**

## 国別高齢化率の推移（予測を含む）




出典　総務省統計局「日本の統計 2026」

- **日本**：1950 年代には高齢化率が低かったが、その後急速に上昇し、現在は比較対象国の中でも最も高い水準にある。今後も上昇し、2050 年代には約 38%になると予測されている。
- **欧米諸国**：日本ほど急激ではないものの、ドイツ・フランス・スウェーデン・イギリス・アメリカなどでも高齢化が進んでいる。特にドイツは今後も高い水準が続くと考えられる。
- **アジア諸国**：韓国では今後の高齢化が特に急速で、2050 年代には日本を上回る水準になると予測されている。中国やタイ、シンガポールなどでも高齢化率が大きく上昇すると予測されている。